

歳入・歳出の計数のポイント（一般会計）

【予算規模】

当初予算は、0.8%の増で、2年ぶりの増加

- ◆ 平成25年度当初予算（一般会計）は、対前年度予算額の56億円、0.8%増の6,749億円で2年ぶりのプラス予算
 なお、平成24年度2月補正を合わせた14ヶ月予算では、対前年度予算額の252億円、3.8%増の6,945億円

（単位：億円、%）

	H20	H21	H22	H23.6	H24	H25
当初予算額	(6,770) 7,234	(6,696) 6,840	6,763	6,830	6,693	【6,945】 6,749
対前年度比	(▲1.8) 4.9	(▲1.1) ▲5.4	▲1.1	1.0	▲2.0	【3.8】 0.8

※ H20、H21の（ ）は借換債を除いた予算額

※ H25の【 】は平成24年度2月補正予算を合わせた14ヶ月の予算額

【歳入】

県税収入は、対前年度2億円、0.1%の微減

- ◆ 県税収入は、対前年度予算額の2億円、0.1%減の2,065億円
 法人事業税については、前年の実績に基づき申告されるが、平成24年度は円高水準の継続が法人業績へ影響を与えたことなどにより減少し、対前年度予算額の21億円、6.2%減の321億円

（法人事業税の推移：H22当初267億円、H23当初356億円、H24当初343億円）

県税収入の状況

（単位：億円、%）

	H20	H21	H22	H23	H24	H25
当初予算額	2,713	2,264	2,005	2,061	2,067	2,065
対前年度比	▲0.9	▲16.5	▲11.4	2.8	0.3	▲0.1

地方譲与税は、対前年度1億円、0.2%の増

- ◆ 地方譲与税は、対前年度予算額の1億円、0.2%増の276億円

**地方交付税は、対前年度36億円、2.6%の減、
臨時財政対策債を加えると、対前年度3億円、0.1%の減**

- ◆ 地方交付税は、対前年度予算額の36億円、2.6%減の1,352億円
一方で臨時財政対策債は、対前年度予算額の33億円、5.3%増の653億円
合計では、対前年度予算額の3億円、0.1%減の2,005億円

県債は、対前年度131億円、9.7%の減

- ◆ 県債は、対前年度予算額の131億円、9.7%減の1,215億円
なお、平成24年度2月補正を合わせた14ヶ月予算では、対前年度予算額の20億円、1.5%減の1,326億円
減額の要因は、地域経済活性化・雇用創出臨時交付金（地域の元気臨時交付金）の83億円の活用、退職手当債で24億円の減など

基金繰入金は、対前年度152億円、63.8%の増

- ◆ 基金繰入金は、対前年度予算額の152億円、63.8%増の391億円
なお、平成24年度2月補正を合わせた14ヶ月予算では、対前年度予算額の158億円、66.3%増の397億円
増額の要因は、財政調整ための基金で128億円の増など

【歳出】

義務的経費は、対前年度36億円、0.9%の増

- ◆ 義務的経費は、対前年度予算額の36億円、0.9%増の4,175億円
人件費は、国からの給与費削減要請の対応として、一部の予算計上を見送る（75億円）ことなどから対前年度予算額の73億円、3.3%減の2,126億円
社会保障関係経費は、対前年度予算額の47億円、5.4%増の921億円
公債費は、対前年度予算額の61億円、5.8%増の1,129億円

消費的経費は、対前年度15億円、1.0%の増

- ◆ 消費的経費は、対前年度予算額の15億円、1.0%増の1,482億円
増額の要因は、財政調整基金積立金で30億円（「地域の元気づくり事業費」相当額）の増など。

投資的経費は、対前年度5億円、0.5%の増

- ◆ 投資的経費は、対前年度予算額の5億円、0.5%増の1,092億円
なお、平成24年度2月補正を合わせた14ヶ月予算では、対前年度予算額の199億円、18.3%増の1,286億円
公共事業については、農林水産部の直轄事業の繰上償還を除く実質ベースで、対前年度予算額の51億円、5.8%減の830億円
なお、14ヶ月予算では、対前年度予算額の142億円、16.1%増の1,023億円